

第103回薬剤師国家試験直前 最終チェックポイント!

6年制国家試験の7回目となる第103回薬剤師国家試験(以下、国試)が2月24日(土)、25日(日)に実施される。第101回国試前に合格基準が一部改正された(改正後合格基準:表)が、第102回国試の実際の合格基準は4問の解なし問題が採点除外として取り扱われ、全問題の得点率63.64%以上(別途、必須問題の基準を満たすこと)となった。第102回国試の実際の合格率は、6年制新卒85.06%(合格者数2295人)、6年制既卒50.83%(合格者数2295人)、その他(旧4年制卒、4年制卒を含む)30.21%(合格者数132人)となり、合格者総数が過去10年で最も高い人数となった前回の国試と比較して約2000人減となった。

これらの結果は、既出問題がそのまま再出題されることなく、理解して学修していなければ得点できない問題が出題されていることなどが影響したと考えられる。6年卒業時に必要とされる資質「薬剤師として求められる基本的な資質」に含まれる「基礎的な科学力」「薬物療法にお

ける実践的能力」を問うための「基礎力」「考える力」「医療現場での実践力」を必要とする問題が多く出題されているため、国試に向けて実務実習で体験した臨床を基礎科目とつなげる学修が必要である。

また、改訂コア・カリで長期実務実習中に必ず体験してほしいとされる「代表的な疾患:図」が発表され、第102回国試でも実践問題を中心に多く出題されていた。特にがん、感染症の出題が多い傾向が続いている。第103回国試に向けても代表的な疾患を中心に症候、検査値を読み取り、ガイドラインに基づいた薬物療法につなげて解答するような臨床的知識を問う内容を理解できる学修も必要となる。

今回は、第103回国試に向けた「最終チェックポイント」として、薬学ゼミナールの科目責任者が全9領域の国試対策を紹介する。

学校法人医学アカデミー 薬学ゼミナール



茂木 雄輔
物理科目責任者



林 美樹子
化学科目責任者



小林 あつみ
生物科目責任者



菊池 聡
衛生科目責任者



猪又 雄太
薬理科目責任者



横井 宏哉
薬剤科目責任者



後藤 健太
病態・薬物治療
科目責任者



尾島 良太
法規・制度・倫理
科目責任者



坂口 努
実務科目責任者

表 薬剤師国家試験問題区分と合格基準(改正後)

科目	問題区分				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	15問	45問	30問	15問 (複合問題)	60問
衛生	10問	30問	20問	10問 (複合問題)	40問
薬理	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
薬剤	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
病態・薬物治療	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
法規・制度・倫理	10問	20問	10問	10問 (複合問題)	30問
実務	10問	85問	-	20問 + 65問 (複合問題)	95問
出題数計	90問	255問	105問	150問	345問

※実践問題は、「実務」20問、及びそれぞれの科目と「実務」とを関連させた複合問題130問からなる
(補足) 総得点:平均点と標準偏差を用いた相対基準により合格者を決定する。ただし、当分の間、全問題への配点の65%以上であり、かつ、必須問題への基準を満たしている受験者は少なくとも合格となるよう合格基準を設定する

図 「代表的な疾患」

がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症

※薬学実務実習に関するガイドライン 2015年2月文部科学省

物理

物理は、苦手としている学生さんも多いと思いますが、学修のヒントになれば幸いです。

物理化学では、図・表を用いてその場で考える問題が出題されます。既出問題で学修する際は、必ず縦軸・横軸を確認し、何を表している図・表なのかを考えながら学修を進めましょう。

出題頻度が高い範囲は、『熱力学、反応速度論、束一性、分子間相互作用』

です。

分析化学・放射化学では、既出問題の知識で解答できる問題が多く出題されています。しっかり既出問題を理解し、かつ出題されている分野の周辺知識を補完しましょう。出題頻度が高い範囲は、『酸・塩基、容量分析、クロマトグラフィー、電気泳動、分光分析、画像診断法』です。

努力は必ず実を結びます!前向きに学習を進めてください!

化学

化学の領域は、これまで通り『化学構造』が多く出題されることが予想されます。

基礎事項や立体化学は、用語を理解し、該当する構造を確実に選べるようにしましょう。また、化学反応は、そ

れぞれの反応の特徴を理解した上で、反応主生成物の構造を判断できるようにしましょう。また、糖をはじめとする『生体成分の構造、それに関連する化学反応、医薬品の化学』は頻出です



こんにちは、
阪神調剤ホールディング
です。

ほんにがん
(お式キャラクター)



http://www.hanshin.holdings/
阪神調剤ホールディング 検索

私たちは、全国に保険薬局を展開するホールディングカンパニーです。

つながりを生み出す力で日本の健康をささえる



阪神調剤ホールディング株式会社